

指定管理者の期末モニタリング

施設名	学童保育所 かえで児童クラブ	年度	令和5年度
指定管理者	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	担当課	子育て支援課
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	期別	第4期
施設の目的	両親等の就労等により保育が必要な児童に対し、保護者に代わり保育することにより、児童の健全な育成を図ることを目的とする。		
業務の内容	(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 (2) 施設及び設備の維持管理に関すること。		

総合的な評価

【総合評価】 A優良 0 B適正 13 C改善 0

- ・施設の設置目的をふまえ、適切に管理していた。
- ・常勤指導員の退職があったが、新たな常勤指導員の採用に向け取り組み、迅速に確保ができていた。
- ・保護者と密接なコミュニケーションを図り、児童に関する情報の共有を行い、最適な保育に努めていた。
- ・担当課との報告・協議により、引き続き安定的な保育運営を期待する。

【評価事項】

- ・新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行したものの、夏頃まではインフルエンザやアデノウイルスといった感染症が流行する中での保育となったが、引き続き感染症対策を徹底し、入所児童及び保護者に対する安定的な保育運営を行っていた。
- ・外部の研修への積極的な参加等により、質の高い保育の確保が図られていた。
- ・感染症拡大防止に配慮、工夫し、野外活動や学童祭りを実施していた。

【改善事項】

指定管理者と保護者の良好な関係を築くことは困難を伴うこともあるが、苦情や相談に対しては迅速な対応を期待したい。

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> ・3クラス運営体制で保育を行い、開所予定日すべて滞りなく学童保育を運営することができていた。新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行したものの、夏にかけてインフルエンザやアデノウイルスなどの感染症が流行する中で、関係機関、保護者と連携を図りながら、適切に対応することができていた。 ・保育目標をたて、年間を通してクラス毎に児童を固定し、縦割り班活動で育ち合う仲間づくりを行っている。また、クラブ毎に子どもたちの様子について、指導員間で共通理解を図りながらきめ細やかな指導を行っていた。 ・子どもたちの気持ちを受け止め、子ども同士の育ち合いの機会を設けるため、行事や日常の活動において保育内容を工夫し、児童の健康に配慮し、安心、安全に快適に過ごせるよう努めていた。 		
2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催にあたっては、参加児童に偏りがでないよう、参加学年や人数等に配慮していた。 ・支援が必要な児童に対しても、他の児童と変わりなく、公平な保育に努めていた。 		
3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県定める『埼玉県放課後児童クラブ運営基準』に則り、4月から各学童の在籍児童数に応じ、常勤指導員を2名または1名配置、合計5名体制での運営を計画していたが、退職者が出たことより、常勤指導員が不足した。常勤指導員の採用に向けさまざまな取り組みを行い、秋には、次年度に向け常勤指導員の確保ができていた。常勤指導員不足の期間は保育に支障が出ないよう運営にあっていた。 ・職員研修に関しては、埼玉県学童保育連絡協議会主催のオンライン研修会に参加していた。 		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃を行い清潔な環境を保っていた。施設管理については常時点検を実施し、児童が安心・安全かつ快適に過ごせるよう環境整備と維持に努めていた。 ・外側溝や屋上及びエアコン清掃については、宮代町シルバー人材センターに委託して清掃を行っていた。また、植栽管理については、対応が必要な場合、速やかに町や小学校に相談し、改善を図っていた。 ・安全計画を作成した。次年度よりそれを基にした安全点検を実施予定としている。 		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
<p>軽微な修繕は可能な限り職員で修繕するなど、安全面に考慮しながら適切に管理していた。</p>		

6. 備品管理	評価	B 適正
<p>児童クラブにおいて備品管理台帳により管理し、使用年数や破損・劣化等の状況に応じて修繕や入れ替えを行い、安全に使用できるようにしていた。</p>		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
<p>・小学校の管理職との打ち合わせを行い、災害時の緊急対応について確認していた。全指導員間でも確認、周知を徹底していた。また、父母会で学校との連携を含む避難方法や情報の伝達方法について確認していた。</p> <p>・避難訓練は、児童を含めた訓練を年4回実施していた。うち1回は、消防署による指導を受け、通報や消火の訓練を実施していた。</p> <p>・管理責任者、防火責任者は、常勤支援員2名を適切に配置していた。</p> <p>・年1回保護者と共に、伝言ダイヤル訓練を行っていた。</p>		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
<p>・個人情報については鍵のかかるロッカーに保管し、特定の者のみの閲覧としていた。個人情報等を破棄する際には、情報漏洩が無いようにシュレッダーで処理していた。</p> <p>・個人記録やその他個人に管理する書類等については、管理簿に記載し管理していた。</p> <p>・広報等の写真の掲載可否については、父母会を通じて確認していた。</p>		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
<p>利用者ニーズについては、年7回父母会を開催し、確認していた。また、年1回の学年別懇談会も開催し、ニーズの把握に努めていた。父母会、学年別懇談会に限らず、随時確認していた。</p>		
10. 自主事業の実施	評価	
<p>該当事業なし</p>		
11. 経費節減	評価	B 適正
<p>・指定管理料の大半が人件費であり、経費節減は難しいところであるが、高騰する光熱水費に対して節電するなど、経費の節減に努めていた。</p> <p>・第2学童・分室の手洗い場に遮光シートをはり夏の室温上昇を防ぐなど、快適な環境確保に努めるとともに、節電に努めていた。</p>		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
<p>・今年度も保育室の温度管理をサーキュレーターや空気清浄機の使用及びカーテンや遮光シートでの遮光を行い、夏場はエアコンの設定温度を26度にする等、節電に心がけていた。</p> <p>・ゴミの分別について、児童と共に考え、環境への配慮について学んでいた。</p>		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
<p>月に数回、クラブだよりを発行し、保護者に情報を発信していた。また、小中学校など関係する地域の機関にも配布し、活動への周知を行っていた。</p>		
14. 会計管理	評価	B 適正
<p>・会計監査の役を置き、適切な管理を行っていた。</p> <p>・年に数回、NPO理事や父母会役員等が予算の執行状況について確認するとともに、その後の予算執行の方向性を確認していた。</p>		